

**助六月替わ弁当**

# うなぎ弁当

8月

暑い季節をのりきるたっぷり鰻と、涼しげなフルーツ  
季節の野菜も彩りよく揃えました。

**【8月限定】うなぎ弁当 1個 3,000円(税別)**

8月の  
こだわり  
メニュー

うなぎ

※ご予約はご来店、お電話にて、ご指定日の前日までに品名・個数をお知らせください。  
※個数変更またはキャンセルの場合は、ご指定日の前日までにお知らせください。  
※お弁当は配達のみとさせていただきます。※内容は多少変更になる場合がございます。

**土用丑の日、  
プレミアムうな重。**

贅沢にうなぎ2枚をふっくら  
香ばしく焼き上げました。  
助六のプレミアムです。

◆プレミアム鰻重…5,500円(税別)

助六の鰻は、溜り醤油やザラメ砂糖を使  
用し、見た目は少し黒めのこだわり自家  
製継ぎ足したれ。丁寧に串にしたら、  
ゆっくりじっくり火にかけ、たれを絡め  
たらさらに香ばしく焼き上げます。夏負  
けしないとておきを、どうぞこの機会  
に、是非ご賞味ください。

期間限定 7/25~7/30まで

季節のお料理・お弁当のご案内、宴席プラン、最新のイベント情報など、詳しくはHPをご覧下さい。

四季料亭  
**助六**

助六 社長  
今月のコラム

初めは毎日同じ仕事をし、  
コツコツと1つずつ覚えていき、  
3年後くらいには煮方の仕事もさせ  
てもらえるようになり、5年の月日が  
過ぎて行きました。

料理長の部屋 <http://hideyuki-nakamura.jimdo.com/>

女将ブログ [http://blog.livedoor.jp/chikage\\_sukeroku/](http://blog.livedoor.jp/chikage_sukeroku/)

facebook 中村 智景 または 四季料亭 助六 [検索](#)

鈴虫の  
鳴く声沁みる  
助六味覚

助六では、毎年お盆を過ぎるころには玄関で、そしてお部屋でも、鈴虫の奏でる声を聞くことができます。

世界中のほとんどは、虫の出す音に風情や趣を感じる文化はないのだそうです。「虫の出す音」を「虫の声」と表現し、「ああ秋も深まつたなあ」などしみじみ聞き入る日本人は、稀有な文化のなかにあるのです。助六では、彩り豊かな旬のお料理とともに、雅趣に富む空間を堪能していただけます。

日本四季、風土、地理 解答と解説

「たたき」とは、おもに魚を調理する時の技法で、大きく2つの技法があります。一つはカツオに使われる「焼くたたき」で、食材の表面を軽く焼き、中には火を通さない技法。昔は焼きあがりに薫味をまぶし包丁の腹で叩いて身を締めることもあったため、「たたき」と名が付いたとされます。もう一方がアジの「細かく切るたたき」で、包丁で細かく叩くように切ることからその名がついたとされます。日本の伝統技法、興味深いですね。

女将お手製の  
梅酒はいかがでしょうか。

今年も厳選した材料で、かつ余計なものは入れない自然派梅酒を、女将が大事に大事に漬けこみました。さわやかな香りがうれしい梅は三毒を断つといわれクエン酸・リンゴ酸がとくに豊富で、疲労回復に効果が期待できます。昨年仕込みの梅酒も仕上がっており、暑い季節、女将さっぱりとおいしい梅酒をご賞味ください。

お祝いのお料理

ガーベラプラン	¥10,000	(サービス料別、税別)
百合プラン	¥12,000	(サービス料別、税別)
薔薇プラン	¥14,000	(サービス料別、税別)

椅子席 又は、掘りごたつ個室をご用意いたします。

人数等お気軽にご相談下さい。

結納、和ウェディング、お祝い初め、七五三など様々なお祝い行事に対応いたします。

これから季節にピッタリ。ロック・ソーダ割り・水割り・湯割り等、好みでどうぞお楽しみください。

2016  
7月20日号  
Vol. 55  
[発行] 2016. 7. 20

# 助六新聞

四季料亭  
**助六**

岐阜県大垣市高砂町1-20

## 日本的人生儀礼 「お宮参り」

おみやまいり  
英語: shrine visit

子供の誕生を感謝し、長寿と健康を祈る行事で、赤ちゃんが生まれてから30日目から33日目（男の子は31・32日目、女の子は32・33日目）までの間に氏神に参詣し、初めて赤ちゃんが氏神に参拝することから「初宮詣（はつみやもうで）」「氏子入り」とも呼ばれています。地域によっては、7日目から100日目+と差があるようですが30日から33日目とされているのは、この頃になって、産婦の「産の忌」が明けるため、それまでは氏神との対面が許されていないからとされ、忌み明けの行事とか信仰という捉え方でだった様です。現代のお宮参り行事にも、子供のすくすくとした成長を願う家族の思いが、昔からの習わしとして受け継がれている日本の文化ですね。氏神参拝の際には、元々忌み明けの済んでいない母親が赤ちゃんを抱くのはよくないとされ、父方の祖母が抱いて参拝していたそうですが、産後の母親の体を気遣うという思いもあったのではないかとも言われているようです。日本の思いやり文化が垣間みえますね。



参拝は神社にお参りするだけでも構わないようですが、やはり、お祓いを受け、祝詞をあげていた頂く方が多いようです。お参りが済んだ後は、家族そろって助六へお出かけください。かわいいお子様、お孫様の大切な日に、心をこめておもてなしをさせて頂きます。

**助六TOPICS**

助六で子供のお祝い

お子様、お孫さまの嬉しいお祝いに、どうぞ助六へお越しください。季節のおいしいお食事を、ご参加の皆様方+だけのプライベートな空間でお楽しみ頂けます。お子様用のお膳・お弁当などは、お好みや年齢に合わせてご用意いたします。もちろん、小さなお子様用の離乳食やお飲み物の持ち込みも可能です。必要な食器類、おもてなしスタッフまでお気軽にお申し付け下さい。

<http://sukeroku.com/plan/okosama.html>

**暑さを吹き飛ばす！**

**キーンっと冷えた生ビールが美味しい季節です。**

いよいよ、夏本番！アツくてウマい季節がやってきました！助六では、お好みに合わせて様々な銘柄のビールをご用意しております。泡立ちの細かく、温まりにくい「陶器でお出しするビール」もご好評頂いております。日本酒派の方には、きりっと冷えた「竹酒」を。ほんのりと竹の香りが涼を奏でます。また、和食には良く冷えた白ワインもお料理を引き立てます。赤ワインで飛騨牛も最高ですね。どうぞ、旬のお料理とともにアツい夏をお楽しみください。

**キリッと竹酒**

春夏秋冬を樂(は)むらの  
**歳時記手帖**

8月 August

旧暦八月は葉月（はづき）と呼び、葉が黄色く色づく頃だから「はづき」、または落葉が始まるから「葉落ち月」が「葉月」になったと言われています。また、稻穂が実る時期であるから「（ほより）（穂大穂發）づき」とか、雁（かり）が飛んで来始める時期だから、「初雁月（はづかりづき）」が「はづき」となった、という説もあるようです。この季節は夜が徐々に過ごしやすくなる時期で、秋の半ば（旧暦）であることから仲秋と呼ばれる時期を含みます。秋の「仲秋の名月」、楽しみな風物詩ですね。